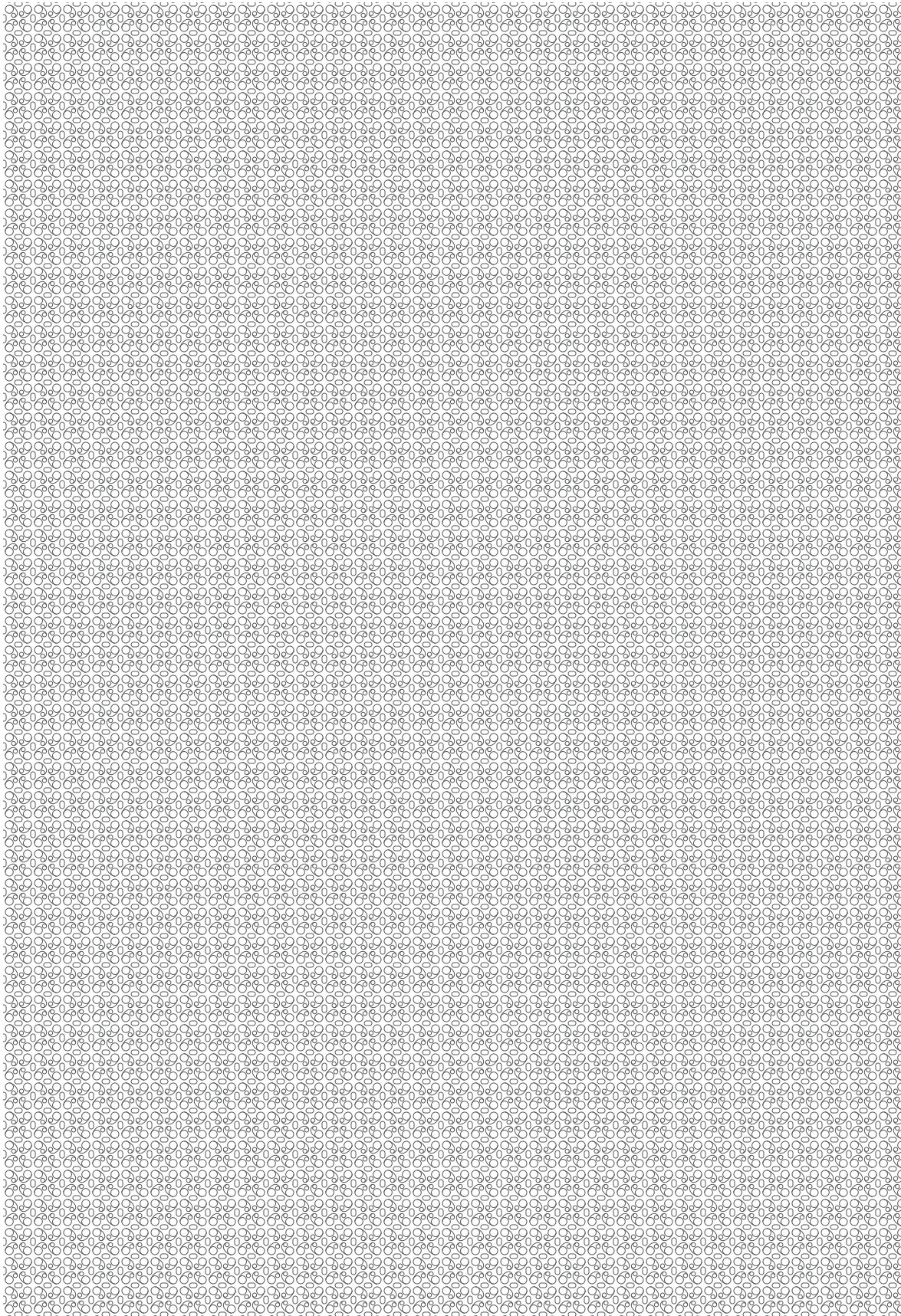


2026年度入学試験問題

世界史

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効になります。



I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

昨年、2025年4月、史上初のアルゼンチン出身のフランシスコ教皇が逝去し、新たにアメリカ出身の教皇レオ14世が選出された。そもそもローマ教皇はローマ・カトリック教会の首長である。ローマ教皇は地上におけるイエス・キリストの代理人でもあり、聖ペテロを後継する者とされ、歴史の舞台にたびたび登場してきた。

ローマ帝国によってキリスト教が国教化されると、ローマ帝国末期には5つの管区で教会と信徒は管理されるようになった。5管区の総大司教座がおかれた教会は五本山^①と称され、それぞれが首位権を主張したが、このうちローマ教会では、教皇レオ1世がその首位権を主張し、教皇権の確立に尽力した。ローマ教会はフランク王国との結びつきの中で勢力を得、西欧社会においてその権威を確立した。教皇レオ3世は800年、西欧世界をほぼ統一したカール大帝にローマ皇帝の帝冠を授け、(A)を巡って関係が悪化していた東ローマ(ビザンツ)帝国皇帝との関係を清算した。このことはローマ、キリスト教、(B)の三要素が融合し、西欧中世世界の基礎が成立したという点で、新しい時代と世界の出発点をなすことになった。11世紀になると、ローマ教皇は各国の君主が握っていた聖職叙任権を要求し、叙任権闘争を展開した。カノッサの屈辱(カノッサ事件)などの抗争が繰り返され、教皇権伸長の形勢が確立されていった。教皇(C)はセルジューク朝に占領された聖地を異教徒^③に対する聖戦で奪回すべく十字軍の遠征を決議するクレルモン教会会議を招集した。第4回十字軍は教皇権の極盛の象徴とされた教皇インノケンティウス3世によって提唱された。十字軍そのものは1291年、最後の拠点アッコが陥落し終焉した。十字軍の失敗は教皇の普遍的権威の失墜を招くことになった。これを決定的なものにしたのが1303年に発生した(D)事件であった。この事件で教皇を憤死させ、勝利を収めたフランス国王フィリップ4世は教皇庁を南フランスに移し、以後約70年間、教皇はフランス国王の干渉を受けることになった。これを「教皇のバビロン捕囚」^⑥という。15世紀に入ると、懸案となっていた教会大分裂すなわち大シスマが(E)公会議において公会議至上主義を決議することでようやく收拾された。この会議で異端の烙印を押されたウィクリフやフスの精神は16世紀の宗教改革^⑦に継承されることになった。ルターやカルヴァンらによる宗教改革に対しても当初は有効な

措置を講ずることができなかつたが、教皇パウルス3世は1545年から開催されたトリエント公会議を通じて教会の立て直しをはかった。とくに教皇に忠誠を誓うイエズス会の活躍などにより、失地回復に努力がはかられたが、ヨーロッパ=キリスト教世界を教皇のもとに再統合することはできなかつた。

前46年カエサルによって制定された太陽暦、ユリウス暦はローマ帝国をはじめ、キリスト教世界の多くの国々で長らく使われてきた。しかし、ユリウス暦の1年(365.25日)が実際の地球の公転周期(約365.2422日)より約11分長いので、年月が経つにつれ教会暦において重要な春分の日徐々にズレが生じた。1582年、教皇グレゴリウス13世はこれを修正するため、グレゴリウス暦を導入した。これによりうるう年のルールが改定され、暦は実際の地球の公転周期に非常に近くなった。この3年後、日本の公的な外交使節団であった天正遣欧使節の4人がローマ教皇シクストゥス5世に謁見した。

1804年のナポレオンの戴冠式に、教皇ピウス7世は今までの慣例に反してパリまで出向いて参列した。この事実に象徴されるように、教会は守勢にたたされ、従来教皇が保持していた諸特権も否定されていった。1870年、プロイセン・フランス戦争(普仏戦争)に伴い、駐留フランス軍が撤退すると国家統一の完成を旨とするイタリア軍はローマを占領し、教皇領を併合した。以後、教皇ピウス9世は捕囚されたと宣言し、イタリア国王との反目を続けた。20世紀になると教皇ピウス11世が、ファシスト党を率いて台頭し政権を奪取したムッソリーニの政府と長期にわたる交渉を行い、1929年イタリア国家とローマ教皇庁の相互承認に基づく(F) 条約を結び、前世紀からの対立を解消するのであった。戦後、ヨハネス23世の時代になると「現代化」(アジョルナメント)による教会の自己革新に努め、富の不均衡の克服を訴え、力の均衡によってではなく、対話を通しての相互信頼によって国際平和を実現すべきことを説き、教会は一大転換期を迎えるのであった。1965年、国際連合においてパウルス6世が行った平和の演説も、この路線を継ぐものであった。1981年、ヨハネ・パウロ2世が教皇として初めて日本を訪れ、東京、広島、長崎を訪問し、広島では、全世界へ向けて核廃絶への祈りをささげた。

【設問1】 上記の文章中の空欄（ A ）～（ F ）について、以下の問に答えなさい。

問1 （ A ）に入る最も適切な語句を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a 聖像崇拜
- b 異端審問
- c ローマ法大全
- d ローマ進軍

問2 （ B ）に入る最も適切な語句を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a サトラップ
- b ゲルマン
- c ギリシア
- d ゾロアスター

問3 （ C ）に入る最も適切な教皇名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a グレゴリウス 11 世
- b インノケンティウス 2 世
- c ボニファティウス 8 世
- d ウルバヌス 2 世

問4 （ D ）に入る最も適切な地名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a シエナ
- b アヴィニョン
- c アナーニ
- d ピサ

問5 (E) に入る最も適切な地名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a コンスタンツ
- b コンスタンティノープル
- c ヴィエヌヌ
- d ヴァチカン

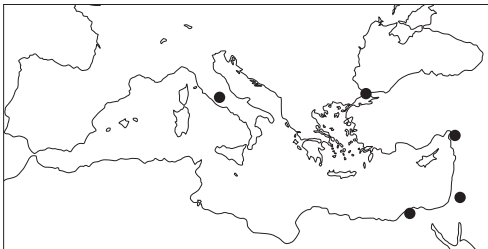
問6 (F) に入る最も適切な条約名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a サンジェルマン
- b コンコルダート
- c ロカルノ
- d ラテラノ (ラテラン)

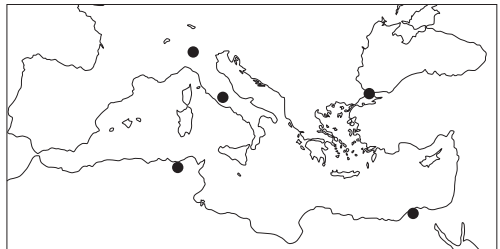
【設問2】 上記の文章中の下線部①～⑩に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①について。五本山の位置を●点でそれぞれ示している地図として最も適切なものを以下の a～d より一つ選びなさい。

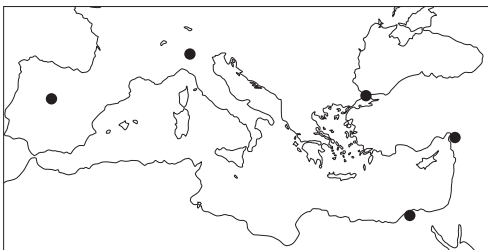
a



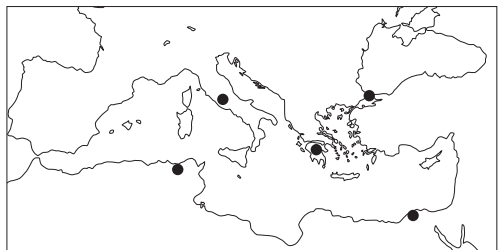
b



c



d



問2 下線部②について。カノッサの屈辱（カノッサ事件）の記述として最も適切な文を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a ドイツ王（のちの神聖ローマ皇帝）ハインリヒ4世が破門の赦免を求めて雪中、3日間カノッサ城外にたたずみ、教皇グレゴリウス7世の前に屈服した事件。
- b カノッサ城での、この出来事によって、長らく続いた教皇権と世俗権力の対立に、最終的な決着がついた事件。
- c 教皇グレゴリウス7世が、ドイツ王（のちの神聖ローマ皇帝）ハインリヒ4世に対する破門を許さず、カノッサ城において教皇権の首位性を示した事件。
- d ドイツ王（のちの神聖ローマ皇帝）ハインリヒ4世が、カノッサ城での軍事的攻防を経て、教皇領の征服と、教皇グレゴリウス7世の廃位を強行した事件。

問3 下線部③について。この聖戦という考え方はもともとイスラームの思想にあったものである。その思想の名称として正しいものを以下の a～d より一つ選びなさい。

- a ラマダーン
- b ザカート
- c ジハード
- d ヒジュラ

問4 下線部④について。第4回十字軍の記述として最も適切な文を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a この十字軍は、フランスのルイ9世が率いてエジプトを攻撃したが、失敗した。
- b この十字軍は、神聖ローマ帝国皇帝フリードリヒ2世の活躍で一時的とはいえ聖地の回復に成功した。
- c この十字軍は、アイユーブ朝のサラーフ・アッディーン（サラディン）との戦いで休戦をとりつけるにとどまった。
- d この十字軍は、ヴェネツィア商人の思惑によって聖地に向かわず、コンスタンティノープルを攻撃、占領しラテン帝国が建設された。

問5 下線部⑤について。教皇権隆盛のピークに立つインノケンティウス3世の言葉として最も適切な文を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a ローマは三度、世界を統一した。
- b 教皇は太陽であるが、皇帝は月である。
- c それでも地球は動く。
- d この（十字架）印にて勝て。

問6 下線部⑥について。この表現は教皇がフランス王に屈したとしてヘブライ（ユダヤ）人のバビロン捕囚にたとえたものであるが、このバビロン捕囚に関する記述として明らかに誤っているものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 紀元前6世紀、新バビロニア国王ネブカドネザル2世がユダ王国を滅ぼし、多くのヘブライ（ユダヤ）人がバビロンに強制移住させられた。
- b 強制移住後、半独立国の地位にとどまったユダ王国の王位を継承したダヴィデ王は、反新バビロニアの反乱を起こしたが、失敗した。
- c アケメネス朝ペルシアのキュロス2世が新バビロニアを征服し、捕囚されていたヘブライ（ユダヤ）人の帰還が許可された。
- d バビロン捕囚からの解放後に、ヤハウェを唯一の神とし、選民思想やメシア信仰を特色とするユダヤ教が成立した。

問7 下線部⑦について。16世紀、スイスを中心に展開された宗教改革に関する記述として最も適切な文を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a チューリヒでルターは、聖像・ミサも廃止するなど厳格な聖書主義を唱えたが、改革は彼の戦死で頓挫した。
- b 16世紀後半、ルソーの書物から感化を受け改革運動に身を投じたカルヴァンは、ローマでの迫害を逃れ、ベルンで活動し市政も委ねられた。
- c カルヴァンの思想的特色は、救済の有無は善行によってではなく神が予め定めているとする予定説であった。
- d カルヴァンは、勤労の結果としての営利、蓄財を認めた為、多くの商工市民層に信奉され、カルヴァン派はフランスではゴイセン、オランダではプレスビテリアン、イングランドではユグノーと呼ばれた。

問8 下線部⑧について。教皇パウルス3世と対立したヘンリ8世に関する次の文の正誤の組み合わせとして正しいものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- A 教皇はヘンリ8世と王妃キャサリン（カザリン）との離婚を承認した。
- B ヘンリ8世は、修道院を解散させ、その土地や財産を没収した上で国民に払い下げた。

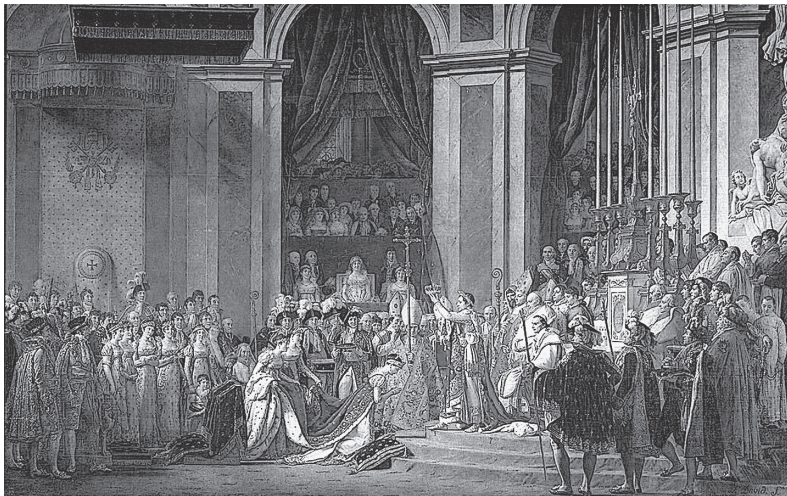
- a A—正 B—正
- b A—正 B—誤
- c A—誤 B—正
- d A—誤 B—誤

問9 下線部⑨について。ローマ皇帝コンスタンティヌス帝によって招集されたニケーア（ニカイア）公会議以来、教会暦において春分の日が3月21日に固定されたが、1582年当時、ユリウス暦では約何日のズレが生じていたか、最も適切なものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 5日
- b 10日
- c 20日
- d 30日

問10 下線部⑩について。下のナポレオンの戴冠を描いた古典主義の巨匠は誰か、以下のa～dより一つ選びなさい。

- a ミレー
- b ドラクロワ
- c ゴヤ
- d ダヴィッド



Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(20点)

古代エジプトはおよそ3000年にわたり、神性を持つとされたファラオたちが支配してきた。古代エジプト史には、一部、記録がほとんどない時期も存在する。しかし、ファラオに限定すれば、多少の差こそあれ情報は現存する。

昨年2月、イギリスとエジプトの合同考古学チームが、103年ぶりに古代エジプトの新王国時代第18王朝のファラオ、トトメス2世の墓を発見したと発表した。このファラオの息子で、前15世紀に活躍したトトメス3世は、義母で実権を握っていたハトシェプスト女王の死後、(A)方面に17回もの遠征を繰り返しながら領土を拡大し、エジプト最大の版図を持つ帝国を築いた。この領土拡大の背景としては、中王国時代末期に古代エジプト語由来で「異国の支配者たち」の意を持った呼称であるヒクソスが流入し、彼らによる過酷な1世紀に及ぶ支配を武力で打破したことが影響①した。これによってエジプト人の平和主義的性格が大きく変質していったのであった。新王国時代は他にも注目すべきファラオがいた。前14世紀に即位したアメンホテプ(アメンヘテプ)4世である。ヒクソスを追放する過程で都テーベの守護神アメン(アモン)に対する信仰が高まり、国家的太陽神ラーと融合するアメン(アモン)・ラーの形でエジプト全体に広がった。この為、エジプトはこれまでにない政治情勢②になっていた。この情勢を是正するためにアメンホテプ4世は宗教改革を断行したのであった。アメン(アモン)・ラーを中心とする伝統的多神教を禁止し、その神殿もことごとく閉鎖した。アトン(アテン)を唯一の神とする改革を行った。自身もアトン(アテン)に有用な者との意味を持つ(B)と称した。都も(C)に遷都し、この地③で古代エジプト史上、特異な美術が花開いた。ファラオの死後、後継者として娘婿が少年王として即位した。その後、アメン(アモン)の生けるしるしを意味する王名に改名し、彼の時代にすべて宗教改革前に戻された。また、1922年にイギリスの考古学者カーターによって発見された彼の墓は、未盗掘の王墓として貴重な遺物が多数出土し、世界的な注目を集めた。

古代エジプトのファラオでただ一人「大王」と呼ばれるのが、第19王朝の(D)である。強大な軍事力を背景に権力と富を掌握し、60年を超えて統治した。アブ・シンベル神殿など巨大建造物を全土に築き、自らの名を刻んだ。人々が大

王に抱く畏敬と誇りは今も失われていない。プロパガンダにたけた大王は、前13世紀初めに勃発した強国ヒッタイトとの「(E)の戦い」に関して、実際には決定的な勝敗のつかなかった激闘だったにもかかわらず、各地で戦勝だったと碑文を刻んだ。停戦後に締結した世界初の平和条約の記録も残した。このように一時的にエジプトは、繁栄を取り戻すこともあったが、末期王朝時代に入ると急速に衰退した。前7世紀にエジプトは再び外国勢力の支配を一時的に受けた後、崩壊へ向かうのであった。前525年、一地方政権となっていたエジプトはアケメネス朝ペルシアによって、征服され、④ ⑤ 古代エジプトはついに終焉した。

【設問1】 上記の文章中の空欄 (A) ~ (E) について、以下の間に答えなさい。

問1 (A) に入る最も適切な語句を以下の a ~ d より一つ選びなさい。

- a シリア
- b 西アフリカ
- c 南アフリカ
- d ガリア

問2 (B) に入る最も適切な語句を以下の a ~ d より一つ選びなさい。

- a クフ
- b カフラー
- c プトレマイオス
- d イクナートン

問3 (C) に入る最も適切な語句を以下の a ~ d より一つ選びなさい。

- a ギザ
- b テル・エル・ダバア
- c マトゥラー
- d テル・エル・アマルナ

問4 (D)に入る最も適切な語句を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a クレオパトラ
- b ラメス(ラメセス) 2世
- c ジェセル
- d ツタンカーメン

問5 (E)に入る最も適切な語句を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a カデシュ
- b トロイア
- c アルベラ
- d マラトン

【設問2】 上記の文章中の下線部①～⑤に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①について。ヒクソスに関する次の文の正誤の組み合わせとして正しいものを以下のa～dより一つ選びなさい。

A エジプトに馬と戦車といった新しい技術をもたらした。

B 製鉄技術を発展させ鉄器を実用的に用いた。

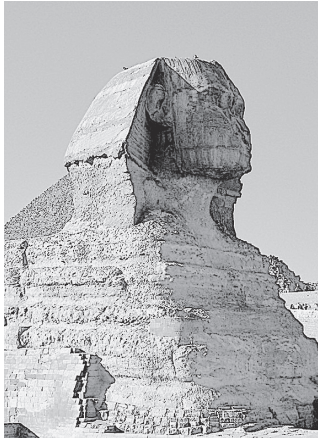
- a A—正 B—正
- b A—正 B—誤
- c A—誤 B—正
- d A—誤 B—誤

問2 下線部②について。エジプトのこれまでにない政治情勢についての記述として最も適切な文を以下のa～dより一つ選びなさい。

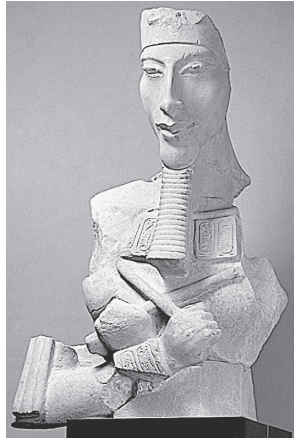
- a アメン（アモン）・ラーを国教とするアッシリア人による支配を受けるようになっていた。
- b ファラオが単独で人民を支配する新たな政治体制が構築されるようになっていた。
- c ファラオとアメン（アモン）・ラーを信奉する妃による二元的支配体制が定着するようになっていた。
- d アメン（アモン）・ラーの神官たちが、政治・社会に重大な影響を与えるようになり、ファラオの脅威となっていた。

問3 下線部③について。この古代エジプト史上、特異な美術の作品として最も適切なものを以下のa～dより一つ選びなさい。

a



b



c



d



問4 下線部④について。アケメネス朝ペルシアに関する記述として明らかに誤っているものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a アラム語は国際商業の共通語として、アケメネス朝ペルシアの広大な支配地域全体で行政・外交・商業文書に広く使われた。
- b アケメネス朝ペルシアで信仰されたゾロアスター教は、世の中は善神アフラ・マズダと悪神アーリマン（アンラ・マンユ）の絶え間ない闘争であると説いた。
- c アケメネス朝ペルシアは、ギリシア諸都市との間で戦われたペルシア戦争に勝利し、西はバルカン半島から東はガンジス川に至る大帝国となった。
- d キュロス2世が前6世紀半ばにアケメネス朝ペルシアを創建して以後、この王朝は、約220年間続き、前331年ダレイオス3世がアレクサンドロス大王に敗れ、翌年、暗殺され滅亡した。

問5 下線部⑤について。古代エジプトの文化に関する次の文の正誤の組み合わせとして正しいものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- A 古代エジプトの宗教では靈魂の不滅と死後の世界が信じられていた。
- B 古代エジプトでは天文学、測量術、医学など実用的な学問が発達した。

- a A—正 B—正
- b A—正 B—誤
- c A—誤 B—正
- d A—誤 B—誤

Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

モンゴル帝国（大モンゴル国）の「ハン」は創建者の直系の子孫が名乗る君主の称号であったが、こうしたハンを統括する最高君主として「大ハン」の称号があり、その位につく者は、帝国の最高決議機関であるクリルタイで選出されていた。モンゴル帝国第4代の大ハンであった（A）・ハンが1259年、流行していた疫病で急死し、その後、次の大ハン位を巡って、その弟のフビライ（クビライ）^①とアリクブケが対立した。両雄並び立ち、相譲らない事態となった。最終的には、軍事力に勝るフビライが反対勢力を圧倒し、1264年にアリクブケが降伏し、フビライ新政権が名実ともに発足した。盟主となったモンゴル帝国第5代のフビライ・ハンは、同年、帝国の都を現在の（B）である大都に遷し、1271年に中国式の統治制度^②を導入して、国号を大元（元朝）とした。これにより、政治的中心はモンゴルから中国に移ることになった。中国北部の金や西夏はすでに滅亡していたが、1276年、フビライは残る南宋に攻め入った。南宋の都、（C）を無血開城させて南宋を滅ぼし、中国全土を久方ぶりに再統一した。この結果、地政学的にも大都是元王朝の中心都市となり、発展を遂げるようになった。さらに、フビライは勢力の拡大を目指して、周辺諸国への侵略を繰り返した。1274年と1281年に日本にも侵攻した。元軍の集団戦法や彼らが用いた陶器に火薬や鉄片を入れて炸裂させた「（D）」に苦戦をしいられながらも、日本は激しく抵抗し、侵攻は2度とも失敗に終わった。戦前の教科書には蒙古襲来を防いだのは神風だったと記されていたが、実際は天候が戦局に多大な影響を与えたわけではなかった。1274年も1281年も、元軍が暴風雨や台風に遭遇したのはほぼ撤退中の出来事であった。神風は戦前、国防意識を高めるために創作されたものである。1287年にはビルマ遠征を行い、（E）朝の首都を攻撃して占領した。元軍が最終的に撤退する13世紀末のベトナム遠征は、一時、陳朝の首都、昇竜一現在名（F）一を支配下においたが、暑さや疫病、現地軍のゲリラ戦での消耗や陳朝軍の将軍の活躍などによって、ベトナム遠征は失敗した。結局、元の積極的国外遠征の多くは失敗に終わった。ただ、東南アジアへの遠征は、海上ルートの確保にもつながり、この点では有益であった。

フビライは南宋を滅亡させた際に、南宋が発行していた紙幣を新紙幣に交換させ、

これを法定通貨とした。この紙幣は、フビライの時代には紙幣の裏面に「偽造すれば死刑」「交換保証あり」などの文言が記されており、このころは銀や銅銭と交換可能な兌換紙幣として機能していた。また塩の購入はこの新紙幣のみで、新紙幣は「塩本位制」という側面もあった。ヴェネツィア共和国の商人マルコ・ポーロは父、叔父と共に元にやって来ていて、フビライに仕えた。帰国後にまとめた彼の旅行記『世界の記述』^③では、当時のヨーロッパには紙幣が存在しなかったため、次のように新紙幣の流通^④^⑤に驚きをもって、述べている。

「(フビライ・) ハンは一切の支払いをこれで済ませ、治下の全領域・全王国にこれを流布せしめる。流通を承諾しなければ死刑になるので、だれ一人としてこの授受を拒む者はいない。実際のところ、どの地方でもどんな人でも、いやしくもハンの臣民たる者ならだれでも、快くこの紙幣での支払いを受け取る。というのも、彼らはどこへ行こうとこの紙幣で万事の支払いができるからだ」。

これまで紙幣を発行していた南宋などの政権が苦慮していたのは、その紙幣の信用維持であった。兌換を準備する上での調達と発行紙幣の回収が必ずしも機能しなかったからである。フビライ政権は、当時の国際通貨の銀を兌換準備することで紙幣の運用を容易にし、さらに紙幣による納税の義務化によって回収にも成功したのである。このようにして紙幣の価値を維持し、基軸通貨とすることで、商業活動が一層、活発化した。しかしながら、チベット仏教の高僧パクパ（パスバ）がフビライの帝師になったことで、以降の歴代の皇帝や貴族たちがチベット仏教に傾倒し、過度の寄進や豪華な寺院の建立で国家財政を悪化させ、需給バランスを無視して新紙幣を増刷した。当然ながら貨幣価値が下落して経済が混乱し、天候不順による飢饉や疫病の続発によって政府の支配が揺らいだ。白蓮教徒を中心とする大農民反乱、(G) をはじめとする反乱が各地で発生した。爆発的な悪性インフレーションとなり、この紙幣の信用は失墜した。こうした混乱の中で、農民反乱である (G) に参加して頭角を現した朱元璋が1368年、元をモンゴル高原に駆逐した。

【設問1】 上記の文章中の空欄（ A ）～（ G ）について、以下の問に答えなさい。

問1 （ A ）に入る最も適切な人物名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a モンケ
- b フレグ（フラグ）
- c オルダ
- d チャガタイ

問2 （ B ）に入る最も適切な都市名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a 西安
- b 大連
- c 南京
- d 北京

問3 （ C ）に入る最も適切な都市名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a 開封
- b 臨安
- c 開城
- d 潼淵

問4 （ D ）に入る最も適切な語句を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a 青龍刀
- b 火矢
- c てつほう
- d 大砲

問5 (E)に入る最も適切な王朝名を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a パガン
- b タウンゲー (トゥングー)
- c コンバウン (アラウンパヤー)
- d ペゲー

問6 (F)に入る最も適切な都市名を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a ハノイ
- b ホーチミン
- c フエ (ユエ)
- d ニャチャン

問7 (G)に入る最も適切な乱の名称を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 黄巾の乱
- b 陳勝・呉広の乱
- c 紅巾の乱
- d 太平天国の乱

【設問2】 上記の文章中の下線部①～⑤に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①について。フビライの祖父で13世紀初めモンゴル諸部族を統一した右下の切手の人物は誰か、以下のa～dより一つ選びなさい。

- a バトゥ
- b テムジン
- c グユク
- d ハイドゥ (カイドゥ)



問2 下線部②について。元は唐末から宋代に一般化した地主の土地を借りて耕作し、小作料を支払う農民の制度をそのまま維持したが、この名称として最も適切なものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 官戸制
- b 府兵制
- c 屯田制
- d 佃戸制

問3 下線部③について。フビライの宗教寛容政策を背景に彼の死後、教皇の特使として元にやって来て30年以上、布教活動した修道士を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a モンテ・コルヴィノ
- b プラノ・カルピニ
- c マテオ・リッチ
- d ロバート・モリソン

問4 下線部④について。この『世界の記述』の中の日本に関する記述として、最も適切な文章を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 「この都市は商人の都であり、世界中の香料・布・宝石・金銀がここで売られている。都市の人々は礼儀正しく、異邦人にも寛大である。」
- b 「都は完璧な方形（正方形）に造られ、四方に門を持つ壮麗な都市である。城壁は大きく、高く、漆喰^{しっくい}で塗られ、塔が等間隔に建てられている。」
- c 「この国の住民は、決して牛の肉を食べない。牛は神聖な動物とされ、人々は牛に餌を与えて崇拜している。」
- d 「東方の海中にある大きな島であり、王をいただき、極めて豊かで黄金に満ちている。王の宮殿はすべて金で覆われ、床にも純金が敷き詰められている。」

問5 下線部⑤について。この流通した紙幣の名称として最も適切なものを以下の a
～ d より一つ選びなさい。

- a 蟻鼻銭
- b 交鈔
- c 半両銭
- d 布貨

Ⅳ 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(24点)

1914年に第一次世界大戦が勃発した際、世論ともどもウィルソン大統領はこの戦争は「ヨーロッパの戦争」と位置づけ、中立を宣言し参戦には消極的であった。2期目の1916年の大統領選挙においても第一次世界大戦への中立を公約に掲げて当選していた。しかしながら、この前年、イギリスの大型客船（A）がドイツの潜水艦によって無警告撃沈され、アメリカ人も100名以上の犠牲が出る事件が発生するとドイツに対する世論は悪化に向かい始めた。1917年2月にドイツによる無制限潜水艦作戦が再開されると、ウィルソン大統領は参戦へと踏み切ることになった。1917年4月、ウィルソン大統領は「世界を民主主義にとって安全なものとする」という大義を掲げてドイツに対し宣戦布告し、連合（協商）側で第一次世界大戦に参戦した。アメリカの参戦は膠着状態に陥っていた第一次世界大戦の戦況を大きく動かすことになり、^①連合側の勝利を誘導することになった。翌年1月、ウィルソン大統領は戦後の国際秩序に関する十四カ条の平和原則を発表する。この中で、ウィルソン大統領はとりわけ国際連盟を新たな国際秩序の基盤として重視した。国際連盟はこれまでの国際秩序に代わって、^③新たな安全保障体制の構築を目指すものであった。戦後のパリ講和会議で採択された国際連盟規約を盛り込んだ条約は1919年7月からアメリカ上院の審議にかけられたが、^④翌月中旬にはその批准が危うい状況に陥った。上院外交委員長ロッジによる国際連盟規約第10条にアメリカは自国の議会の承認なしには軍事行動を取らないなどの付帯条件を加えた修正案が支持を集め、さらにこの時点で少数ながら非妥協派の上院議員ボラーらが批准に断固反対したからであった。ウィルソン大統領は上院議員の説得を試みたが、これは難航した。そこで国際連盟への加盟を国民に直接、訴えるため9月に全米遊説に出発したが、病に倒れ、この試みは頓挫した。11月、ボラーの最終反対弁論の後、ロッジの付帯条件付き批准とウィルソン大統領が固執した無条件批准は共に否決された。ボラーの最終反対弁論は結果的にアメリカ外交政策の方向性を決定づける要因となり、アメリカ外交史における決定的な瞬間になった。以下がそのボラーの反対演説である。ただし、アメリカは、^⑤孤立主義の下でも自国の権益や勢力圏を守るためであれば、積極的に国際主義的外交を展開した。例えば、日本の台頭などで複雑化した中国・太平洋地域においては、1921年から翌年

にかけて（ B ）を主催し、アメリカは日本、ヨーロッパと協調して中国の領土保全や海軍軍縮を主導したことなどは注目すべきである。

大統領閣下、（略）この条約と国際連盟に関する私の最終的な見解を述べるのに、今この瞬間が最も適切な時であると思います。おそらく、私がこの条約と国際連盟に反対する理由を、簡潔ながら述べる最後の機会となるでしょう。

大統領閣下、（ C ）氏が大統領に選出され、まだ就任前のことでした。当時、アメリカ国内は内戦勃発直前の危機に直面しており、ワシントン市のある友人が（ C ）氏に指示を求める手紙を送りました。それに対する（ C ）氏の返答は、「妥協は受け入れてはならない、一つとしてだ」というたった一行でした。これこそが、私がこの提案に関して最初から取ってきた立場であり、今も堅持している立場です。

留保条項だけでは、国際連盟に対する私の反対意見が解決されたとは考えていません。むしろ、どこが解決されていないのかを明確にしたいと思います。我々が国際連盟に加盟し、現在書かれている留保条項を伴った形でそれを受け入れた場合、我々の対ヨーロッパ、さらには世界の国々に対する立場はどうなるのでしょうか。留保を加えたことで違うものが生まれたと信じている人々を尊重し、その知性や愛国心を疑うつもりはありませんが、私は、留保がこの争いに関わる根本的な問題を解決していないと考えています。

国際連盟が成立すると、我々は国際連盟理事会の一員となります。我々の正式な代表者は、他の加盟国の正式な代表者と共に、我々の国だけでなく、ヨーロッパ全体、アジア全体、ひいては世界全体の問題について審議することになります。我々の代表者は総会の一員にもなり、ここにいる我々が自分の選挙区を代表するのと同じように、（ D ）万人以上のアメリカ国民の意思を代表することになります。

しかし、我々は、理事会や総会の決定が自国にとって不満足なものであった場合にどうするかについて、心の中で留保したまま、他の大国の代表と席を共にすることはできません。我々が理事会や総会に参加する目的が、決定事項を誠実に履行することでないのならば、すぐに国の尊厳を失い、国際世論の非難を受けることになるでしょう。ここで問題にしているのは、留保があるかどうかではありません。我々が理事会

や総会において、道義的責任に基づいて決定を順守する義務を負うことになる点が重要なのです。戦争ではなく平和に貢献する決定であれば我々は同盟国と共に行動するが、戦争を伴う決定であれば撤退するなどという態度をとった場合、我国は今のよう
に世界の尊敬を集め、指導的立場を保持することができるでしょうか。

さらに重要なのは、国際連盟規約第11条がいかなる留保によっても修正されていないという事実です。第11条がそのまま残る限り、国際連盟規約第10条は完全に不要なものとなります。もし戦争やその脅威が国際連盟の審議事項とされ、国際連盟がそれに対処するための適切と考える措置を講じるのであれば、第10条の存在意義は何でしょうか。外部からの侵略は、戦争やその脅威と見なされるのではないのでしょうか。第10条には、第11条が完全に網羅していない要素があるのでしょうか。

この条約が批准され、我々は国際連盟の理事会および総会に代表者を送り、国際連盟規約第11条が完全に有効な状態のままで残る以上、国際連盟は、世界平和に関わるすべての問題に対して理事会と総会が権限を持つことになります。それを前提とするならば、アメリカ合衆国が信義の国家であるとする限り、これ以上何をもって我々の義務を確定させる必要があるのでしょうか。

大統領閣下、我々は、議会の承認なしに海外へ軍隊を派遣しないと主張してきました。しかし、法律的な議論はさておき、もし行政権が拡大されれば、行政は議会の承認なしにその権限を行使することになるでしょう。我々の代表者が理事会と総会におり、そこで戦争と平和に関する問題が審議され、決定が下された場合、アメリカ議会は何ができるのでしょうか。名目上の拒否権を持つにすぎず、実際には道義的責任からそれを行使できないのではないのでしょうか。

また、我々は「全会一致の原則」があるから安全だと言う人もいます。しかし、過去300年間で分割された国々は、すべて「全会一致」によって分割されてきたのではないのでしょうか。18世紀、プロイセン、オーストリア、ロシアは、全会一致で（ E ）を分割・併合しました。アメリカ、イギリス、日本、イタリア、フランスは、中国の（ F ）のドイツ権益を日本が継承することを全会一致で決定しました。

大統領閣下、我々は今やヨーロッパの問題の中心に巻き込まれています。我々はすべてのヨーロッパ諸国と同盟を組み、彼らの問題に介入しています。そして、私にとって最も根本的な問題は、アメリカが建国以来およそ150年間維持してきた「絡み

合った同盟を持たない」という大原則を，我々が今，批准によって完全に放棄してしまふことになるということなのです。(以下略)

The League of Nations Controversy in Senate, 1919

【設問1】 上記の文章中の空欄（ A ）～（ F ）について，以下の問に答えなさい。

問1 （ A ）に入る最も適切な船舶名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a タイタニック号
- b ルシタニア号
- c ブリタニック号
- d オリンピック号

問2 （ B ）に入る最も適切な会議名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a ブレトン=ウッズ会議
- b ヴァイマル国民会議
- c ロンドン会議
- d ワシントン会議

問3 （ C ）に入る最も適切な人名を以下の a～d より一つ選びなさい。

- a リンカン
- b モンロー
- c セオドア・ローズヴェルト
- d タフト

問4 (D)に入るのは2024年推計のアメリカ総人口の約30%に相当する、当時のアメリカ総人口の数値である。最も適切な数値を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 5,100
- b 11,000
- c 21,000
- d 31,000

問5 (E)に入る最も適切な国名を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a スウェーデン
- b デンマーク
- c ヴェネツィア
- d ポーランド

問6 (F)に入る最も適切な省名を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 山東省
- b 四川省
- c 福建省
- d 雲南省

【設問2】 上記の文章中の下線部①～⑥に関する以下の問に答えなさい。

問1 下線部①について。アメリカの参戦以外に膠着状態に陥っていた第一次世界大戦の戦況に大きな影響を与えた出来事として最も適切なものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a ロシアで革命が起こりソヴィエト政権が成立し、ドイツなど同盟国と単独講和条約を結んだ。
- b ドイツ軍がポーランド北東部タンネンベルクでロシア軍を撃破し、東部戦線で主導権を握った。
- c フランスで首相に返り咲いたクレマンソーによる挙国一致内閣が成立した。
- d 日英同盟に基づき、日本が参戦し、ドイツの東アジアの拠点を次々と攻略した。

問2 下線部②について。十四カ条の平和原則として明らかに誤っているものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 秘密外交の廃止と公開外交の実施
- b 海洋の自由
- c 経済障壁の撤廃と平等な通商条件の確保
- d アジア、アフリカにおける民族自決と独立支援

問3 下線部③について。国際連盟に関する記述として明らかに誤っているものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 当初の常任理事国は、イギリス、フランス、イタリア、日本の4カ国であった。
- b 常設国際司法裁判所はオランダのハーグにおかれた。
- c 当初、排除されていたドイツは、後に加入が認められ、常任理事国となった。
- d 本部は、スイスのローザンヌにおかれ、総会及び理事会を中心に運営された。

問4 下線部④について。パリ講和会議に関する記述として最も適切なものを以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 日本はアジア諸国の代表として参加したが、列強によって発言権を奪われ、講和条約にも署名できなかった。
- b 日本は戦勝国として会議に参加し、赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を獲得した。
- c 日本代表は会議において民族自決を主張し、アジア・アフリカの植民地解放を主導した。
- d 日本が提案した人種的平等の国際連盟規約への明記は全会一致で、承認された。

問5 下線部⑤について。ボラーの反対演説から読み取れる国際連盟規約第10条の要旨として最も適切な文を以下のa～dより一つ選びなさい。

- a 連盟の加盟国は、脱退の意思を2年前に通告すれば、連盟から脱退することができる。
- b この規約に基づく連盟の行動は、常設の事務局を有する総会及び理事会を通じて行われるものとする。
- c 総会は、定められた間隔で、また必要に応じて随時、連盟の所在地または決定された他の場所で開催される。
- d 加盟国は、他のすべての加盟国の領土保全と政治的独立を尊重し、外部からの侵略に対して共同で守る。

問6 下線部⑥について。「絡み合った同盟を持たない」は、ある大統領が世界のいかなる国家とも恒久的な同盟締結は回避し、無用な争いに巻き込まれないことを外交の基本とすべきとした告別演説で用いられた表現だが、このある大統領とは誰か、以下のa～dより一つ選びなさい。

- a ワシントン
- b トマス・ジェファソン
- c ジャクソン
- d マッキンリー

